

## 火曜日は尿検査の日です

— 実施日 4月22日(火)・23日(水) —

## なぜ、尿の検査をするのでしょうか？

毎日、何気なく出している尿を、ただの老廃物と思っていませんか？  
尿は確かに体でいらなくなったものですが、この中に含まれているものを調べること  
で、体にひそんでいる病気を発見することができるのです。病気の早期発見に最も手軽  
で簡単な尿検査。正しい結果が出るように、注意を守ってきちんと受けましょう。

### 今回の検査でしらべることは・・・

- たんぱく が入っていないかどうか。  
(たんぱくが尿の中に入っていると、じん臓の病気が疑われます。)
- 潜血(血液) が混ざっていないかどうか。  
(血液が尿に混ざっていると、じん臓の病気や尿の通る道の病気が疑われます。)
- 糖 が混ざっていないかどうか。  
(糖が尿の中に混ざっていると、糖尿病が疑われます。)



2次検査日は  
5月29日(木)

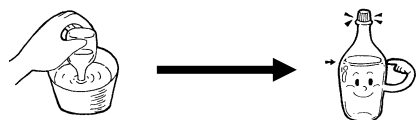
### 尿の取り方

- ① 前日、紙の袋に、学校名・学年・組・番号・名前・年齢・性別を記入する。  
名前シールは、学年・組・名前をはっきり書いて  
スポイド容器に貼ってください。

- ② 朝起きたら、まずトイレへ！



- \* 出始めの尿はとらないで、少し出たあとの尿(中間尿)を紙コップに取ります。
- \* 紙コップに取った尿を、検査用の容器(スポイド容器)に吸い取り、しっかりふたを閉めてください。



- ③ 尿の入ったスポイド容器を紙袋に入れ、学校へ持ってきて  
朝の学活時に提出してください。  
(出す時には、入れてきた封筒や袋、包んできた紙などは取り除いてください)

### 尿検査回収日

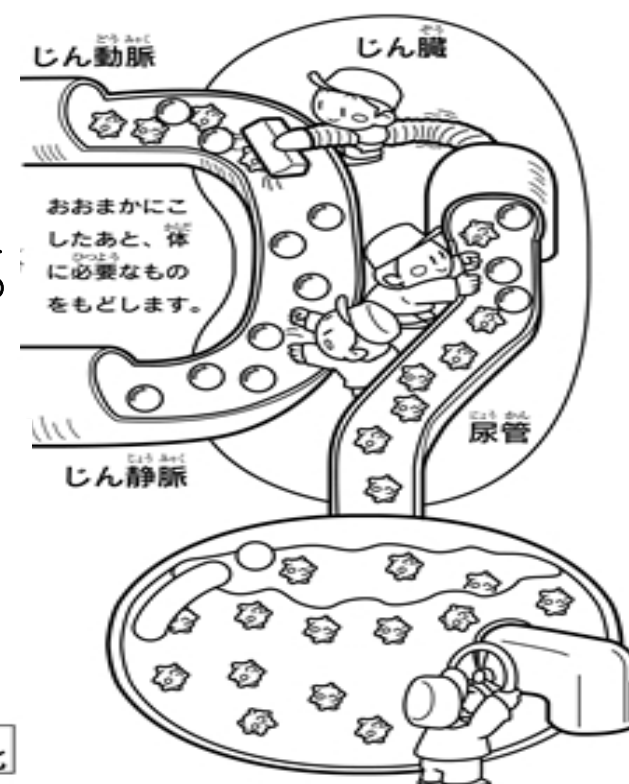


## じん臓のしくみと働き

### おしっこを作っているところ

#### じん臓

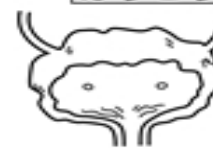
- 〈働き〉
- ・血をこして、いらないものをおしっこにする。
  - ・体の水分の量を調節する。
- 〈おしっこのもと〉
- ・1日に150から200リットル(おしっこになるのはその100分の1以下)



#### ぼうこう

- 〈働き〉
- ・のびちじみしておしっこをためておく。
  - ・脳の指令で出口の筋肉をしめたりゆるめたりして、おしっこをがまんしたり外に出したりする。

#### ぼうこうの形の変化



##### からっぼ

かべの厚さは  
1センチくらい。



##### まんタン

かべの厚さは3ミリ  
くらいになる。

#### じん臓の大きさ・形

そのじん臓の持ち主のにぎりこぶしより少し大きいくらい。重さはおとなで130グラムくらい。形はソラマメに似ている。



### 尿検査セットを確認しましょう。

セットをもらったら、すぐに次の3つがそろっているか確認しましょう。

- ① 検尿コップ・・・尿を採るためのコップです。
- ② 検査容器・・・コップに採った尿をこの容器で吸い取ります。  
容器にある線まで尿を入れます。
- ③ 検尿袋・・・尿を入れた検査容器を入れる袋です。  
提出する時、袋の口を2回ほど、しっかり折り曲げます。  
付属の名前シールに記入後、プラスチックの尿容器に貼ります。